

佐賀市夏季中体連

(三瀬校中学部だより:「かなやま」から拙稿)

せっこう

(一部略)7月25日・26日の両日、4つの部それぞれが3年生を中心に頑張りました。剣道部は男女団体とも決勝まで危なげなく進み、決勝はどちらも大将戦までもつれる大接戦でしたが、惜しくも準優勝となりました。個人では、男子が1位と3位、女子が1位から3位まで独占する健闘でした。



また、卓球男女は、最後の一球まであきらめずに全力で頑張りました。団体では、男子はメンバーが一人少なく一敗からスタートというハンデがあり、全員が健闘しましたが、1回戦で2-3と敗れました。女子は、1回戦を3-0で突破し、2回戦シード校に善戦したものの1-3で敗れました。来年は、少ない部員数ですが、後輩たちが三瀬中の伝統をしっかり引き継いで活躍してくれるものと信じています。(後略)

自然守る心育てよう やまめの放流

8月7日(金)、村内話ノ瀬地区の河川敷で三瀬村建設組合「三修会」によるヤマメの放流が行われました。

放流するのは村内の養殖業者が育てた体長6~15cmのヤマメ約1万匹で「三修会」より毎年寄付していただいています。

きれいな河川の環境を守るためにはじめられた放流も今回で25回目を迎え、三修会代表の豆田守正さんが自然と魚の生態系を保護することの重要性を話され、三瀬校中学生たちは、バケツに入られた幼魚を大事そうに川に放流していました。



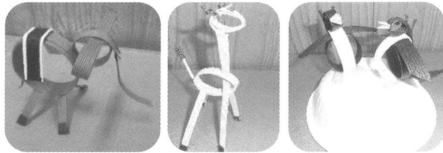
村体育協会よりお知らせ

~村民体育大会の中止について~

8月21日(金)、第2回理事会で村民体育大会について話し合いがなされました。出席した理事全員から「新型コロナ禍の現状において今年度の開催は難しい」との意見が出され、今年度の中止が決定しました。

市立図書館三瀬館からのお知らせ

「今年は夏休みも短かったのに、宿題はいつも通り出た!」と図書館に来る小学生がはなしていました。今年はあまり遊びにも行かず、図書館の利用が多く、がんばりカードにシールがたくさん貼られました。本に親しむ時間が増えたことはよかったですと思います。多くシールが集まった子には賞状と賞品としてクラフトテープで作った動物たちをプレゼントしました。



おすすめDVD・CD

※2週間かりられます

DVD



『ワンダー君は太陽』
初めて小学校に通い始めた少年オースト・プルマンの「ワンダー」な日々を描く、心温まる物語。生まれつき顔に障がいがあるオギーの素晴らしい旅が、彼の家族、クラスメイト、さらに多くの人々の心をひとつにつないでいく。

CD



『心に響く唄BEST』
70年代から80年代を中心とした心に響く曲ばかりを集めたコレクション。
[初恋/村下孝蔵 旅立ち/松山千春
みずいろの雨/八神純子 異邦人/久保田早紀 待つわ/あみん]等収録。

館長コラム メダカが公民館にやって来た!

「小さなメダカや自然体験を通して、子どもたちに命の大切さを伝えていきたい」という願いを込めて、公民館に「メダカ池」を5月に作りました。メダカ池は、大小4つの池があります。近隣の方から排水口を付けてもらったり、メダカが喜ぶ浮き草をわけてもらったりしてメダカ池を作っています。

公民館玄関の池には、メダカだけでなくハヤなどの川魚も混じっています。実は、嘉瀬川から稚魚の時に採取してきたもので、最初みな同じでしたが、今では体調が5cmぐらいになっているハヤも混じっています。あとの3つのメダカ池は、自動販売機の北側にあります。メダカや小さな稚魚が大きな魚から捕食されないようにメダカだけにしています。親メダカの水槽と子メダカの水槽と分けて飼育する予定です。また、メダカの種類によっても水槽を分ける予定です。

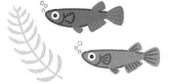
今年の夏休みには「(子どもたちの)オープン公民館」で、ミニ水槽づくり体験を…と考えていました。蓋つきの透明なビンの中に砂や小石、水草などを置き、メダカ池から網でメダカを捕まえてミニ水槽に入れて観察します。瓶の中で涼しく泳ぐメダカに見入ってしまい歓声をあげる子どもの姿が浮かびます。オスのひれとメスのひれの違い、糞をしているメダカ、卵をお腹につけているメダカなど…初めて見ること、発見することも多いと思われま。

学校では、5年生の理科「単元名:メダカのたんじょう」で学習します。いつもは5・6月に学習するのですが、今年はコロナ禍のせいで、7月末に学習した学校のニュースが流れていました。「メダカの受精卵からメダカが生まれるまでの卵の変化を継続的に観察し、生命の神秘さを感じ取る」を学習の目標としています。命の神秘と向き合う学習です。まして、マイ(自分の)水槽でメダカを飼育すると、メダカが生まれる瞬間などの神秘さを目の当たりに見ることができます。

以前学校でメダカを飼っていた時のことですが、ヤゴとメダカを同じ水槽に入れていたことがありました。朝になるとメダカの死骸が水底にありました。ヤゴがメダカを捕食していました。ヤゴを別の水槽に入れると、メダカの死骸を見ることがなくなりました。メダカにとってヤゴは、天敵であることを子どもたちは知りました。

メダカは、本来強い小魚ですが人の手でも火傷(やけど)で死んでしまうこともあります。メダカの死と直面したら、なぜ死んでしまったのかといろいろ考えます。水質や水温、餌、水槽の大きさなどいろいろと…思いを巡らします。そうした命とのふれあい・自然体験を通して、子どもたちは命の大切さを学んでいきます。

来年の夏休みには、子どもたちを集めてメダカのミニ水槽づくりができることを願うばかりです。



『小さいメダカや自然体験を通して、子どもたちに命の大切を伝えていきたい!』公民館の取り組みに、ご理解とご支援をお願いします。

9月の行事予定

- 8日(火) 自治会長会定例会 19:00~ 支所第1会議室
- 9日(水) 行政人権相談 9:30~ 三瀬公民館
- 15日(火) 三瀬地区民生児童委員 15:00~ 支所第1会議室
- 19日(土) 三瀬保育園ふあみりーフェスタ
8:30~12:00 三瀬勤労者体育館
- 28日(月) 地域ケア会議 14:00~ 三瀬保健センター

10月の行事予定

- 8日(木) 自治会長会定例会 19:00~ 支所第1会議室
- 13日(火) 三瀬地区民生児童委員会 支所第1会議室
- 14日(水) 行政人権相談
- 26日(月) 地域ケア会議 三瀬保健センター

※都合(新型コロナ感染防止対策等)により変更の場合があります。あらかじめご了承ください。

みんなであいさつ 笑顔で団らん いっしょにごはん
— 子どもへのまなざし運動 推進中 —